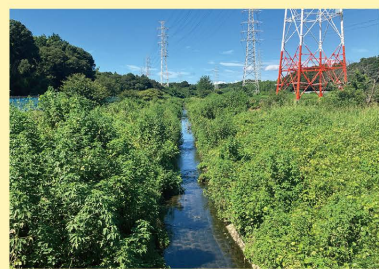


野鳥を楽しむ  
おおじんぼう ふたえがわ  
**大神保・二重川コース**

この地域は、二重川を境に白井市と接しています。河川、雑木林、湿地、県民の森と水と緑に囲まれた自然豊かなコースです。県民の森や二重川では、たくさんの野鳥に出会えます。

- ・ゴミは持ち帰りましょう。
- ・動植物を大切にしましょう。
- ・田畑の周辺や社寺等の敷地に立ち入る場合は、施設や他の利用者に迷惑をかけないようにしましょう。
- ・ヘビやハチに注意しましょう。

**4~5 二重川沿いの道**



船橋の中でも大きな河川のうちのひとつ、二重川沿いを散策できる道です。カルガモやカワウ、ダイサギ、カワセミなどの水鳥が見られるほか、周辺の草地ではホオジロ、カシラダカなども見られます。

※夏場は草が生い茂り、歩きにくいこともあります。



**ダイサギ**

いわゆるシラサギと呼ばれるサギは、白いサギ類の総称で、シラサギという名前のサギがいるわけではありません。ダイサギは名前の通りその中でも大きなサギで、河川、池、水田などの水辺に生息し、水辺を歩きながら餌を探す様子が見られます。

**3 ハンゲショウの湿地**



県民の森から東に向かって歩くとハンゲショウが群生する湿地が見られます。ハンゲショウは湿地特有の植物で、半夏生と呼ばれる暦日（7月2日ごろ）の時期に花が咲き、葉が白くなることからこの名前が付いたといわれています。緑の湿地の中に目立つ白い葉は8月頃にはまた緑色に戻り、他の植物にまぎれてしまいます。



**ツバメ**

軒下に巣を作ることで良く知られる鳥で、雛は巣で親が餌を運んでくるのを待ちます。背中側が黒青色、お腹が白色で切れ込みのある尾が特徴的です。寒くなるころに渡りを行い、暖かい地域で越冬します。俊敏に飛翔し、餌となる昆虫を空中で捕まえます。



**ヒバリ**

スズメよりやや大きい鳥です。茶色、白、黒のまだら模様で、頭に小さいトサカのような「冠羽」があります。2月ごろから空き地や河原の上空で飛びながら長時間さえずり、なわばりを主張します。

**2 船橋県民の森**



クヌギ、コナラ等を中心とした明るい雑木林の中は、多くの生き物の住みかとなっており、林内を通り抜ける小道を歩きながら、自然を楽しむことができます。コゲラ、アカハラ、オナガ、ウグイス、キビタキなどの野鳥も多く見られます。

※ナラ枯れにより林内への立ち入りができない場所があります。



**チョウトンボ**

金属光沢を帯びた黒藍色の翅が特徴的なトンボです。沼や都市部の公園の池などに生息し、成虫は6月から9月頃に見られます。チョウのようなひらひらとした飛び方をします。

**カワラヒワ**

スズメと同じくらいの大きさの、オリーブ色の頭と鮮やかな黄色い羽が特徴的な鳥です。河原、水田、市街地など様々な場所で見られますが、冬場には群れをつくって生活します。



**コース**

全長 5.2km

- ① 県民の森バス停
  - ② 船橋県民の森
  - ③ ハンノキ林とハンゲショウの湿地
  - ④ 富ヶ谷橋
  - ⑤ 富ヶ沢橋
  - ① 県民の森バス停
- 1000m  
1500m  
130m  
1200m  
1400m